

第76回 東葛しぜん観察会

クラフト「木の枝や実でモビールを作ろう」

西澤淑子（松戸市）

日 時：2012年1月15日（日）10時～12時 天気：晴

場 所：手賀の丘少年自然の家 創作室（柏市）

参加者：一般8名（内 子ども2名） 指導員12名

担当指導員：日野原純子 片岡真智子 西澤淑子

年末年始をはさんだせいか、ハタマタ放射能？の影響か、今回参加者は少なかつたのですが、そのぶん材料、道具類はたっぷりと用意され、落ち着いた雰囲気のなかで制作ができました。募集にあたって、これら材料は3月11日以前から集めておいたものを使用し、最近のホットスポットから集めたものではないことを、もっと宣伝してもよかったですのかな～とも思いましたが、参加者の方々は特に気にしている風には見えませんでした。（もっとも気にしている人は参加しないでしょうが。）

モビールを という呼びかけでしたが、ほかにリース、人形、ストラップなどを制作しました。親子は二組いましたが、それぞれが楽しそうに取り組んでいました。最初はお母さん主導で始まっても、そのうちに「キリはありませんか？」「顔をかくからペンを～」など、子どもが積極的に取り組む様子に変化してきました。

出来上がった作品を前に、まるでテーマパークのように物語を語ってくれたときには、参加者全員がその周りに自然に集まりました。指導員にドングリコマを作ってもらった女の子は、ペンで色をつけて、とても気にいった様子でした。

会場までの道すがら木の実を調達してきた人の作品は、いろいろが他の人とは少し違ったものが出来上がってきました。

モビールは出来上がりを皆に見てもらえるように、下げる場所を用意したらよかったですな～と、これは準備係として、後から思いました。（反省）

今年の冬は寒さが身にしみます。室内で、木の実や枝にじっくりと向き合って工作に取り組むことができ、指導員にとっても楽しいひと時でした。



独創的なモビール作り 子どもたちの素晴らしい発想で造りました